

令和 7 年度事業報告書

I. 総括

農産物直売所を取り巻く状況は、築上町を始め、近隣市町村の人口減少、出荷者の高齢化、後継者不足等により、年々出荷数・量が減少し、売上高に現れています。町内外からも出荷商品（果樹等）を受入れ、また昨年 10 月から販売手数料を 2% 上げ、店舗運営の経費や節減等の見直し、改善を行いました。

本年度の店舗売上額（税込）は、約 4 億 5,360 万円で、前年度と比較すると約 1,936 万円の減額となりましたが、仕入高と売上原価や販売費一般管理費を見直した為、営業損益は約 584 万円となり前年比約 1,454 万円の増額となりました。また当期純損益は約 811 万円となり、平成 30 年度以来 6 年ぶりの黒字となりました。

また、施設の開所から約 21 年が経過し、全てが老朽化し改修の年数にきています。空調機、冷蔵庫、ショーケース更新、トイレ工事、照明（LED）器具取替、展示台等全体の見直しが必要です。

令和 8 年度はイベントや出荷数量を増やす取り組みを強化し、大型遊具利用者への商品等を見直し売り上げの回復を図るとともに、店舗の改装テナント工事、冷蔵ショーケース更新工事等を予定しています。

売上・客数・客単価の比較

区分／年度	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減 額	増 減 率
店舗売上額	453,605,370 円	472,966,995 円	-19,361,625 円	-4.09%
客 数	313,025 人	334,541 人	-21,516 人	-6.43%
客 単 価	1,449 円	1,414 円	35 円	2.47%

（金額はすべて税込）

損益の比較

区分／年度	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減 額	増 減 率
営業損益	5,847,477 円	-8,700,681 円	14,548,158 円	167%
経常損益	8,293,997 円	-6,230,003 円	14,524,000 円	233%
当期純損益	8,111,497 円	-6,412,503 円	14,524,000 円	226%

Ⅱ. 会社運営関係

1. 取締役会

取締役会の開催については、必要に応じて会社、物産館の状況について詳細に報告し、役員の理解と協力を頂きました。

取締役 4 名	代表取締役	八野 紘海
(定数 5 名以内)	取 締 役	赤松 正吉
	取 締 役	造田 龍夫
	取 締 役	山崎 崇慶

監査役 2 名	監 査 役	奥村 勝美
(定数 2 名以内)	監 査 役	北代 幸介

取締役会開催 5 回 (6/2、6/23、9/25、11/25、3/26)

令和 7 年 6 月 02 日、 第 20 期定時株主総会招集の件
第 20 期事業報告(案)及び決算書類について
令和 7 年度事業計画について
取締役の選任及び監査役の辞任に伴う改選について
販売手数料の引き上げについて (2%引上げ) 10 月
新規出荷業者の募集 (惣菜・果物・野菜他)
役員の報酬引き下げについて
ラベル代の引き上げについて
キッチンカーについて

令和 7 年 6 月 23 日、 夏季賞与支給(案)について

令和 7 年 9 月 25 日 売上 (4 月～8 月) について
売上 (移動販売) について
パート等労働契約更新案及び下期昇給案 (吉元淳一
店長就任) について
町外出荷者の販売手数料について
航空祭当日 (11/30) の臨時休業について
定休日及び営業時間変更について (案)

令和 7 年 11 月 25 日 売上 (上半期 4 月～9 月) について
冬季賞与支給 (案) について
年末年始の営業について
定休日について

令和 8 年 3 月 26 日 令和 8 年度定期昇給（案）について
令和 8 年度パート等労働契約更新（案）について
寄附金について（築上町 0 万円、出荷組合 0 万円）
役員の改選について（事前協議）
令和 7 年度売上見込みについて
移動販売実績報告
店舗内飲食店の利用料引き上げについて
令和 8 年度町のメタセの杜予算（駐車場区画線工事
350 万円）
椅子 60 脚 ベンチ 4 脚の製作について（270 万円）
第 2 駐車場の整備（町予算 220 万円）
大型遊具完成に伴う式典について（4 月 3 日）

2. 株主総会

株主総会では、会社、物産館の状況について詳細に報告し、株主の理解と協力を頂きました。

令和 7 年 6 月 23 日 第 20 期（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）
計算書類承認の件
令和 7 年度事業計画案の件
監査役の辞任に伴う選任の件

3. その他

令和 7 年 12 月 6 日 開店 20 周年祭（ステージイベント・餅振る舞いなど）

Ⅲ. その他

メタセの杜を築上町の文化・芸術の情報発信施設、交流の場として活用するため、様々な催しを行っています。

国際交流館の利用を働きかけ、書道展、写真展、陶芸作品展などを開催しています。フリーマーケットやステージを使用したイベントは 13 件、

特に音楽コンサートは 14 件と令和 6 年度と比較するとかなり増え、様々な団体が開催して、イベントには多数の来場者がありました。

また、メタセコイア並木や芝生公園を利用した婚礼前撮り写真撮影は 16 件ありました。

第 1 号議案

決算報告書

第 21 期

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

株式会社 ついきプロヴァンス

貸 借 対 照 表

令和8年 3月 31日 現在

株式会社 ついきプロヴァンス

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 流 動 資 産 】	68,907,963	【 流 動 負 債 】	25,728,340
現 金 ・ 預 金	65,189,153	買 掛 金	3,081,125
商 品	1,918,742	未 払 金	5,458,297
貯 蔵 品	1,505,059	預 り 金	36,184
未 収 入 金	263,435	受 託 販 売 未 払 金	13,952,734
立 替 金	29,550	未 払 消 費 税	3,017,500
未 収 法 人 税 等	2,024	未 払 法 人 税 ・ 住 民 税	182,500
【 固 定 資 産 】	13,041,210	【 固 定 負 債 】	
【有形固定資産】	12,412,911	預 り 敷 金	720,000
建 物	5,621,314		
建 物 附 属 設 備	4,412,442	負 債 合 計	26,448,340
構 築 物	748,523	純 資 産 の 部	
機 械 装 置	494,376	【 株 主 資 本 】	55,500,833
車 両 運 搬 具	559,105	【 資 本 金 】	12,000,000
工 具 器 具 備 品	577,151	【 利 益 剰 余 金 】	43,500,833
【無形固定資産】	586,629	利 益 準 備 金	720,000
ソ フ ト ウ ェ ア	586,629	【その他利益剰余金】	42,780,833
【投資その他資産】	41,670	繰 越 利 益 剰 余 金	42,780,833
出 資 金	10,000		
預 託 金	31,670	純 資 産 合 計	55,500,833
資 産 合 計	81,949,173	負 債 ・ 純 資 産 合 計	81,949,173

損 益 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

株式会社 ついきプロヴァンス

(単位：円)

勘 定 科 目	金	額
【 売 上 高 】		
販 売 手 数 料	53,146,660	
売 上 高	70,403,222	
出 店 料	832,312	
自 動 販 売 機 収 入	2,628,155	
そ の 他 売 上 高	2,480,660	
		129,491,009
【 売 上 原 価 】		
期 首 商 品 棚 卸 高	3,182,878	
仕 入 高	51,569,084	
合 計	54,751,962	
期 末 商 品 棚 卸 高	1,918,742	
売 上 総 利 益		52,833,220
【販売費及び一般管理費】		70,810,312
営 業 利 益		5,847,477
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	13,106	
受 取 配 当 金	100	
雑 収 入	2,433,315	
【 営 業 外 費 用 】		2,446,520
経 常 利 益		8,293,997
【 特 別 利 益 】		0
【 特 別 損 失 】		0
税 引 前 当 期 純 利 益		8,293,997
法 人 税 住 民 税 事 業 税		182,500
当 期 純 利 益		8,111,497

販売費及び一般管理費明細書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

株式会社 ついきプロヴァンス

(単位：円)

勘 定 科 目					金	額
役 員 報 酬					1,410,000	
給 与					18,462,059	
雑 給					19,764,715	
法 定 福 利 費					3,615,010	
福 利 厚 生 費					1,740,315	
旅 費 交 通 費					33,206	
広 告 宣 伝 費					3,194,092	
容 器 包 装 費					2,542,489	
発 送 配 達 費					280,549	
業 務 委 託 費					2,709,242	
減 価 償 却 費					2,992,518	
修 繕 費					354,461	
事 務 用 消 耗 品 費					596,889	
通 信 費					243,661	
水 道 光 熱 費					4,208,815	
租 税 公 課					128,300	
寄 附 金					14,300	
接 待 交 際 費					331,463	
保 険 料					419,550	
備 品 消 耗 品 費					657,151	
車 両 費					790,513	
リ ー ス 料					760,560	
保 守 管 理 費					3,983,523	
諸 会 費					73,000	
図 書 研 究 費					53,870	
会 議 費					20,292	
雑 費					1,429,769	
合 計						70,810,312

株主資本等変動計算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

株式会社 ついきプロヴァンス

(単位：円)

勘 定 科 目			金 額
【 株 主 資 本 】			
資 本 金	当期首残高及び当期末残高		12,000,000
利 益 準 備 金	当期首残高及び当期末残高		720,000
そ の 他 利 益 剰 余 金			
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		34,669,336
	当期変動額 当期純利益		8,111,497
	当期末残高		42,780,833
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		35,389,336
	当期変動額		8,111,497
	当期末残高		43,500,833
株 主 資 本 合 計	当期首残高		47,389,336
	当期変動額		8,111,497
	当期末残高		55,500,833
【 純 資 産 の 部 合 計 】			
	当期首残高		47,389,336
	当期変動額		8,111,497
	当期末残高		55,500,833

個 別 注 記 表

株式会社 ついきプロヴァンス

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品は、最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産は、法人税法の規定による定率法（但し、平成10年4月1日以降に取得した建物ならびに、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法）を採用しております。

② 無形固定資産は、法人税法の規定による定額法を採用しております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有者が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

② 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜経理方式によっています。

貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 54,542,434円

株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 240株

(2) 配当金支払額

無配の為、該当事項はありません。

(3) 当該事業年度の末日後に行う剰余金の処分に関する事項

無配の為、該当事項はありません。

一株当たり情報に関する注記

(1) 一株当たりの純資産額 231,253円 47銭

(2) 一株当たりの当期純利益金額 33,797円 90銭

第2号議案

令和8年度事業計画案について

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

I. 基本方針

令和8年度は、売上の減少、出荷者の募集に向けた取り組みを積極的に展開します。

売上減少の原因として人口減少に伴う高齢化・後継者不足による出荷者・出荷量の大幅な減少があり、販売商品も午後からは常に品薄状態で、購買者も減少傾向にあります。この解消を図るため、近隣市町村から野菜以外の出荷者を受け入れます。また、4月からキッチンカーの出店者を募集し、大型遊具利用者への魅力ある品揃えに取り組みます。

施設全体の老朽化については、店舗内の冷蔵ショーケース更新工事、テナント店舗の改装工事を予定しています。さらに修繕費の支払いや物価高騰に対処する為、運営体制を見直し改善していきます。

店舗運営に関しては、下記の重点目標・事項に取り組んでいきます。

II. 重点目標

- 1 安全・安心・新鮮な農林水産物・加工品の提供
- 2 魅力ある品揃えと出荷量の確保
- 3 特産品の開発
- 4 他地域との交流促進
- 5 出荷者の確保（他市町村からも受け入れ）

III. 取組事項

- (1) 出荷物の品質管理強化（生産履歴管理及び農薬検査、食品衛生管理）
- (2) 出荷物の集荷体制構築
- (3) イベントの充実化や国際交流館・舞台の有効活用
- (4) 移動販売の拡充取組
- (5) 築上町内の行事への参加や支援
- (6) 施設の点検、改善
- (7) 遊歩道を含めたメタセコイヤ、公園の整備
- (8) 九州防衛局へ施設改善の陳情